まちづくり検討会議（ワークショップ）会議録

城端行政センター　岩滝

件　名	城端地域 第２回まちづくり検討会議		
日　時	平成３０年　３月１２日（月）	場　所	城端庁舎　2F　２０２会議室
出席者	〔検 討 会 議 委 員〕１０名　松本久介・松平保夫・清部一夫・山崎良子・岩井透・坂井隆・中島満・芳里勝・水本積・松井紀子 〔ファシリテーター〕谷内博史、能登貴史 〔地域づくり支援員〕沖田澄夫、北井康仁 〔行政センター職員〕岩滝正義　樋口実		
内容	第１段階：		
詳細	1. 開会 2. 資料説明 　地域ごとの課題 VS 市全体の課題もある 　その中で特にこの地域では？を考えてほしい 3. 協議検討 ① 　第 1 回の意見まとめから Q. 課題がまちによって違う中、城端は課題が多いので第 1 段階、第 2 段階質を分けて話しづらい。行ったり来たりでよいのでは？ A. 行ったり来たりはありうる 課題と方向を同時に 城端は駅もあるし拠点性もあり観光面で賑わいを出すことの話がしやすい 5 地区同時の場所 射水では･･･子育てセンターと複合の事例 5 地区でやるのではなく、城端中から集まる ハード→ソフト同時に考えたい 拠点庁舎づくりにリンクさせて話してはどうか？ ② Q. まちづくりといってハード・ソフトもあると思っていた。庁舎統合の問題ではないのか？ A. ハードもソフトもある。庁舎のこともある。資料 2 の第 2 段階の中身を確認してほしい。 会の方向を知りたい 住みよいまちづくりを考える会 庁舎が無くなりまちがさびれないように Q. 議会の経緯も聞いていると庁舎再編が発端であるが、庁舎がなくなる前提で課題をだすべきでは？ A. 進め方の中で庁舎のことを話してよい。 ゴールを明確に、4 回では無理 Q. 「会議の最終ゴールイメージ、いつまでに」を知りたい。4 回程度では無理では？ A. 城端がどんなまちになってほしいか　課題を出していけばキリがないが城端がどんなまちになってほしいかを議論してまとめてほしい 庁舎は耐震である。図書館、商工会を含めて考える 5 地区で活用できる施設。維持管理を最小にしていきたい PA ﾜｰｸｽが出た後の施設が寂しくなっている Q. 公民館・図書館などの機能はどうするのか？耐震もしっかりしている現庁舎活用がいいのでは？ A. 壊さない方がいいのでは？民間が施設整備して公共が入るという例もある。 子供からお年寄りまで集える複合集約化 今までより倍の R304 の立地のよいところに集う機能 問題は駐車場、集まるための工夫 ③ ☆庁舎の活用について 人が集まる場どこにあるのか？ 民生委員の合同 120 人位集まる。他に集まる場所が無い いろんな団体がいろんなところで会議をしている現状		

小さい集会場が点在している。賑わいの拠点がほしい
賑わいの拠点になっていない
福光は公民館もある
維持費が知りたい･･･H27　3019 万
H26　3759 万
H25　3125 万
図書館は？2100 万
商工会は？市の建物に無償　維持管理は別
クリエータープラザ
支援センター　300 万/年の維持管理費→更地にしてクリエータープラザへ
図書館資料 20%
図書館員　75%→ここが重要だ　司書
施設　5%→図書館の統合計画はそもそもどうなっているのか？
↓
一慨に比較できないのでは？
集めた場合のシュミレーションをしたい
老朽化しているものを複合化という提案
→ 賛成！
タイミング良く体力がある内にいろんな施設を集める
庁舎建物に思い入れはあるが、人口減少下ではこんなに大きいものはいるのか？体力のある内に、お金のある内に壊しておく考え方もある。

④
既存施設や空家の活用も視野に入れるべき
美山荘、小規模多機能自治を進める　社会福祉協議会で指定管理しているが･･･
織物会館のホールも見る影もない
現庁舎のホールと併設する時は、複合相手
・勤労青少年ホームの 1 室で公民館としている。しかし、寿命。「この庁舎に入れれば」という思い。
維持管理との兼ね合い
・かつて図書館に中央公民館あり
　南砺市の文化財関連資料もある。その管理がしっかり出来ていない懸念もある。しっかり管理できるように。ランニングを絞る発想。
・風呂のない人が多い。銭湯がない。
　高齢者の足のある人･･･クアガーデンへ
　ない人･･･美山荘へ
2025 年問題踏まえ準備を
・休むところ、食事するところがない城端の課題
　この辺りは文教ゾーンであるので、エリアに集めることもどうか？
・ここは本当にセンターか？
　センターにするならバスが必ず通るという発想　中央病院と同じように
　人口の多い広い南山田の方はどうか？意見を聞きたい。

⑤
・新設、既存は問わない。しっかりシュミレーションを。
　何かなくなるのは不便になり、コトがなくなる。生活サービスは地域で完結すべき。
　庁舎にいろんなものが集まるというのはその発想から。
・ハコモノがなくなるのはコトがなくなる
　小さくなってもいろんな活動が残る。共同活動。
　中小商業者･･･商工関係者が会える
　農業者･･･営農が成り立たない
・ヒトが主人公である。それからハードがある。
　ヒトが集い、つながり 3 世代をつくれる
　これからの価値観を表していく。生きがいづくり。
・駐車場の需用も見込む必要
・専門家の意見で再配置
　活用の有効性を検討してほしい。
・ヒトの動き、昼、夜間人口の差は？5～10 年後は？
　外国人も含めた人の流れ
・前回資料中、図書館面積の数字が疑問→H22 当時の数字
⑥
・南砺市全体で 1 つのものを城端に
　現在使われている施設。ニーズの高いものに婦人会の人たちは集まる
　じょうはな座の駐車場が足りなくなる？
　祭り、観光で駐車スペースが不足。

	地域全体で、福祉の〇〇などは特色づけてよいのか？ ・高校生は駅周辺がよい ・304 号に面して、城端以外の人にとっては、案内しやすい利用しやすい 大人が学んでいる姿を子供が見て学ぶ。 ・観光圏の目線 曳山会館の裏、別院、蔵回廊、地域外 地区の人にはわかるが外部の人にはわからない。 ・4 地域それぞれの特色を出してまとめていきたい 観光面では城端は魅力化できるのでは 観光拠点、城端中のおみやげをバス、マイカーで買寄れる。 ゾーン　城端駅のハブ化 集まっている、集まっていたい施設の棚卸　マトリックス表？ ・特別教室の活用 未活用施設をもっと強化して使うべき ・展示と企画 楽しくなった。あるモノの活用 庁舎跡地 中心拠点 この間が スカスカ 城端線 五箇山 中心で ⑦ ・建物が要望通り建設されない懸念 行政にお願いして新しい建物をつくるとどうしても小さくなる。 ・利用者数、データを見ながら、既存で活用しきれていないものを活用。全て新設ではない。 ・障害者、不登校の人、南砺ではどうか？健常者との隔たり 鹿児島エイブルアート。皆ともに。阿弥陀様。別院の思想のまち。 野々市の複合施設 子供同士、障害をもった子を助け合っている ・山田川の外に駐車場 昔のように門をつくる フランスのナント　アールブリュット障害者アート。文化庁ナント市と提携 ・庁舎の耐震度の変化 福祉会館＋行政センターを半分にするとどうなる？ ・理想とする城端像も見え隠れ→次回に向けて意見整理して論点出し 事前送付して各委員の意見を持ち寄る。 第 3 回でデータも説明する。 第 3 回 4 月 19 日（木）19:00～
備考 課題・宿題・ 今後の対応等	〇の数字は紙の番号